

# タイムベースドメディア・プロジェクト2023年度活動報告書

担当：三輪眞弘（代表） 前田真二郎 大久保美紀

研究補助員：林晃世

履修学生：河井健、兒島朋笑、BAK SOMIN、新垣隆海、門田健嗣、西尾秋乃

## 研究概要

蓄音機や写真、映画の発明以来、人類は「装置を用いた表現」の可能性を様々な形で広げ、「いま、ここに」存在しない出来事を（擬似）体験することが日常のこととなった。特に映像や音響を含むあらゆる「表現」がデジタル化され、それらを次々と統合していくネットワーク上の「新しい時空間」の出現はまさに私たちにとって「第二の現実」としての存在感を獲得している。

このような状況の中で、かつて「芸術」と呼ばれていたものは、私たちにとっていま、どのような意味を持つものなのか？このプロジェクトでは特に時間-内芸術、すなわち時間的経過の中で行われる様々な「表現」に注目し、「装置を用いた表現」と伝統的な芸能の習得/実践双方を通して、この問題に取り組む。それは「機械」と私たちの身体との関係をめぐる探求であり、さらにメディアと人間存在との関係性を問うことでもある。



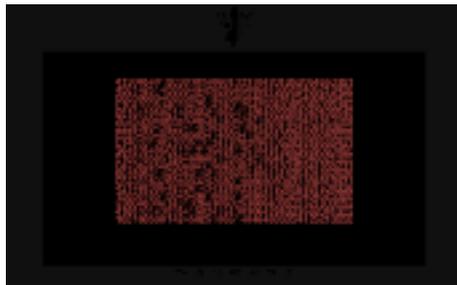
## 2023年度の研究活動

タイムベースドメディア（TBM）プロジェクトの最終年度も、毎週行われるミーティングを中心に、通年の活動と学内外の発表など期間の限られた計画の両方を通して研究を行った。また、学生の作品制作などもこのプロジェクトの実践として位置づけ、IAMAS OPEN HOUSE 2023ではTBMプロジェクト展を開催し、M2門田健嗣による彫刻作品《HUMAN BODY STRUCTURE》を展示、学外の2人のダンサーを招聘し、兒島朋笑が中心となりパフォーマンス公演を行った。また、岐阜県美術館と共催した『IAMAS ARTIST FILE #09 <方法主義芸術> - 規則・解釈・(反)身体』展、及び『岐阜おおがきビエンナーレ2023 <方法/Method>』の開催準備、実施運営に総力をあげて取り組んだ。また、外部発表については、これらの活動を通して学会や外部企画との連携を意識しながら積極的に取り組んだ。

また、プロジェクトが運営するガムラン音楽のサークル（IAMASガムラン部）が『岐阜おおがきビエンナーレ2023』や『IAMAS 2023展』において発表を行った。

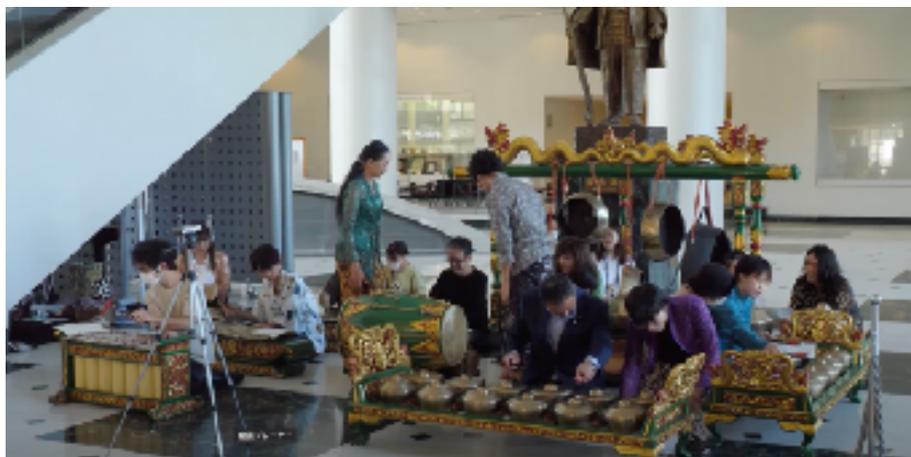
## 活動内容：

- ・ 学生作品の制作、発表（通年）
- ・ インターネット上でのGenerative Streaming作品、三輪眞弘「神の旋律」配信再開



三輪眞弘 「神の旋律」24時間放送

- ・ 『IAMAS ARTIST FILE』及び『岐阜おおがきビエンナーレ』展の準備、設営、運営（11月～12月）
- ・ 日本映像学会・映像表現研究会 MIF 名古屋プログラム出品（12月）
- ・ 『IAMAS2023』、『岐阜おおがきビエンナーレ』及び『IAMAS2024』（2024年2月）展でのガムラン公演及び体験イベント

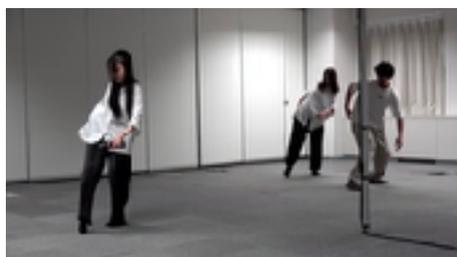


オープンハウスでのガムラン公演。楽器体験イベントに参加する石田仁大垣市長

- ・ ICSAF 2022/JSSA先端芸術音楽創作学会研究会での学生発表（2024年2月）
- ・ 日本映像学会中部支部研究会での学生発表（2024年3月）

## 成果発表：

- 2023/ 7/23 IAMAS OPEN HOUSE TBMプロジェクト展（7月）



M1メンバーの共同制作によるダンスパフォーマンス作品

## ● 2023/10/11-12/24 『IAMAS ARTIST FILE #09 〈方法主義芸術〉—規則・解釈・(反)身体』

主催：岐阜県美術館、情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

総合ディレクター：大久保美紀

協力：IAMAS タイムベースドメディア・プロジェクト

助成：公益財団法人 花王 芸術・化学財団

関連イベント：

AI美芸展2023「AI芸術の先駆と拡張」コンサート記録映像の上映会

11月11日 |日| 11:00 – 13:35

岐阜県美術館 講堂

第47回AI美芸研「方法芸術とAI美学芸術」

11月11日 |日| 14:00 – 17:00

岐阜県美術館 講堂。

方法作品の再演

12月24日 |日| 15:00 – 17:00

岐阜県美術館 多目的ホール

出演：IAMASタイムベースドメディア・プロジェクト、中ザワヒデキ、足立智美、三輪眞弘

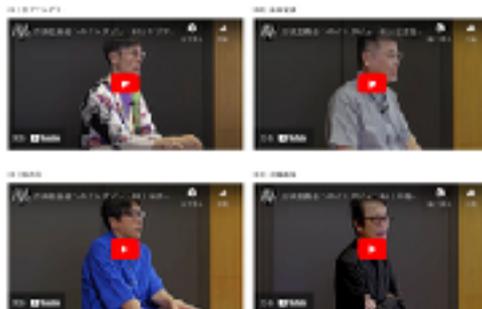


旧方法主義者たちによる方法主義作品「方法ばばぬぎ」の再演

方法主義者へのインタビュー

インタビュアー | 大久保美紀 (IAMAS准教授)

<https://www.iamas.ac.jp/af/09/>



公開された旧方法主義者たちへのインタビュー動画

## ● 2023/10/11-12/24 『岐阜おおがきビエンナーレ2023 〈方法/Method〉』

主催：情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 岐阜県 大垣市

総合ディレクター：大久保美紀 (IAMAS准教授)

協力：IAMASタイムベースドメディア・プロジェクト

助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団



岐阜おおがきビエンナーレ2023が開催されたソフトピアセンタービル入口

シンポジウムプログラム：

12月7日 (木)

13:30～14:00 ガムラン演奏会

14:00～14:15 開会の挨拶

14:15～15:00 基調講演「方法絵画・方法詩・方法音楽 ～方法主義はポストメディアムではない～」 (中ザワヒデキ)

15:00～17:00 シンポジウム「方法」 (中ザワヒデキ、三輪眞弘、大久保美紀)

12月8日 (金)

14:00～17:00 鼎談 岡田暁生×三輪眞弘×吉岡洋「真理と方法、再び」

12月9日 (土) 「三輪眞弘作品の再演コンサート・トークイベント」

日時:2023年12月9日(土)14:00-16:00

会場:岐阜県美術館、多目的ホール

出演:福井麻衣(ハープ)、東野珠実(箏篋)、三輪眞弘(作曲者)、岡田暁生(コメンテータ)

演目:「すべての時間」「蟬の法」



東野珠実による、箏篋のための「蟬の法」 福井麻衣による、ハープのための「すべての時間」 (岐阜県美術館)

12月10日 (日)

13:00～15:00 対談 篠原資明×松井茂 「方法と瞑想」

15:00～16:45 方法マシン同窓会《来れ、集え、マシンとなれ～!》

(三輪眞弘、池田拓実、さかいいいしう、圍羽山圍、安野太郎)

16:50～17:00 閉会の挨拶

以上